

高掬地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

- No. 1 **市道高掬蔵増線の道路舗装について**
建設課
- No. 2 **市道長岡金谷線の拡幅について**
建設課
- No. 3 **通学路の安全確保について**
生活環境課、教育総務課
- No. 4 **放置された農地について**
生活環境課、農業委員会事務局
- No. 5 **地域消防団の人員確保について**
消防本部
- No. 6 **「高掬駅」の駅名（呼称）について**
市長公室
- No. 7 **高齢者健康福祉施設「天童温泉 はな駒荘」への高齢者用風呂椅子の導入について**
社会福祉課
- No. 8 **相互交流協定都市との事業について**
文化スポーツ課、商工観光課

高掬地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

No.	1	標 題	市道高掬蔵増線の道路舗装について
所 管 課 等			建設課
《市民のこえ》 市道高掬蔵増線の高掬から願正壇までの区間は、部分補修ばかりで、走行していてガタガタするような極めて状態のよくない道路です。 令和9年3月までに供用開始予定の天童南インターチェンジに隣接する道路でもあるため、これを機会として、願正壇から蔵増までの区間のような全面的にきれいな舗装にしていきたいです。			
＜回答及び対応状況＞ 市道高掬蔵増線においては、損傷が著しい箇所が多く確認されておりましたので、5月中旬に舗装の修繕を実施しました。 市内の道路の維持管理については、早期の安全性の確保と経済性等を考慮して、部分的な舗装修繕による対応を実施しておりますので、御理解くださいますようお願いいたします。 なお、舗装の損傷箇所については、パトロールを実施して適宜対応しておりますが、損傷を発見した場合には、直接建設課に情報提供いただければと思います。			

No.	2	標 題	市道長岡金谷線の拡幅について
所 管 課 等		建設課	
《市民のこえ》 周辺環境の変化により、地域内を往来する車が多い昨今、安心・安全を確保する上で幹線道路の整備は重要と思います。 特に、にれの木団地北側を通る市道長岡金谷線の一部区間が道路幅 3 ～ 4 メートルと狭くなっており、対向車とのすれ違いに支障が出ております。 また、冬期間の除雪時にも十分な注意が必要な状況となっており、ぜひ拡幅工事の計画に取り上げていただきたいと思います。 繰り返しになりますが、地域全体の安全・安心を確保する上で幹線道路の整備は非常に重要です。地域全体の安全な環境を整備するため、ぜひお願いします。			
＜回答及び対応状況＞ 御指摘の区間の道路幅員は、舗装幅の一番狭いところで 4. 2 m、路肩を含めますと 4. 5 m を確保しており、一定の整備は完了したものと認識していますので御理解をお願いします。			

No.	3	標 題	通学路の安全確保について
所 管 課 等		生活環境課、教育総務課	

高掬地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

《市民のこえ》

高掬小学校近くを南北に走る通称「中道（なかみち）」を、スピードを出して通過する車が多く、危険と感じています。

「スピード減速」、「子ども見守り隊巡回中」、「通学路 減速」、「安全運転」など、交通安全を啓蒙する看板を設置し、交通安全意識を高める取組みを展開していただきたいと思います。

＜回答及び対応状況＞

御指摘いただきました高掬小学校近くを南北に走る通学路について、6月22日に現地調査（7：30～8：00）を実施し、高掬小学校と情報共有を図りました。

御提言いただきました看板の設置を含めた交通安全対策については、具体的な対策を協議するため、8月10日に御提言者、交通安全協会高掬支部、生活環境課、教育総務課の4者による打合せを現地にて行う予定です。

No.	4	標 題	放置された農地について
所 管 課 等			生活環境課、農業委員会事務局
《市民のこえ》 管理されていない農地について、次のような事態が発生する恐れがあると考えています。 ・クマなどの隠れ場所になるのではないかな。 ・雑草や害虫の発生により、周辺に悪影響がでるのではないかな。 ・ゴミが不法投棄されるのではないかな。 ・雑草の繁茂により、景観を損ねるのではないかな。 このような事態が発生した場合、市のどちらに問い合わせしたらよいか教えてください。			
＜回答及び対応状況＞ 農地の適正な管理がなされていない場合は、市農業委員会が所有者又は耕作者に対して文書又は電話連絡により適正な管理がなされるよう指導等を行っています。 また、農地にゴミの不法投棄が確認された場合については、市生活環境課までお問い合わせください。			

No.	5	標 題	地域消防団の人員確保について
所 管 課 等			消防本部
《市民のこえ》 消防団員は、他に仕事を持ちながら、地域のために活動を行っています。 しかしながら、昨今は消防団員の確保が難しくなっており、私も入団から30年を過ぎようとしています。新入団員がおらず、なかなか退団できずに困っています。 他の地域でも同様の課題があると思いますが、今後の消防団員の確保について、			

高檜地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

市長はどのようにお考えですか。

＜回答及び対応状況＞

消防団員の確保は、市全域での課題となっており、特に令和元年以降は少子高齢化による人口減少や働き方の変化等により、消防団員数が減少し続け、今後もこの傾向は続いていくものと思われます。

また、かつて消防団員は個人事業主や農業従事者の方が多くを占めておりましたが、現在では約75%が会社員となっており、平日日中の出動や消防団活動への参加が難しいといった状況にあります。

消防団員の確保については、「二十歳を祝う会」や消防団員加入促進イベント等の機会を捉えて、若い世代に向けたPR活動を進めていきたいと考えています。

また、市では、今年3月に、第九分団が管轄する干布地内に、複数部が車両や資機材等を共同で運用するポンプ車庫を整備し、災害発生時に必要な人員の確保と迅速な災害対応ができる体制を構築しました。今後は、この取組みをモデルケースとして、消防団の効率的な組織体制の整備及び消防団の消防力強化のため、消防団幹部を中心とした消防団再編に係る協議を進めていきます。

なお、令和7年度に、消防職員の定数を72人から90人に増やす条例改正を行い、常備消防である市消防本部の人員体制及び消防力の充実を図っています。

No.	6	標 題	「高檜駅」の駅名（呼称）について
所 管 課 等		市長公室	
《市民のこえ》 現在「高檜駅」の駅名の呼称は「たかたまえき」であるが、同駅が所在する地区名は「たかだま」である。 これは駅開設当初から長きに渡り駅名（呼称）と地区名が合致せず齟齬をきたしている状態である。ある意味これはＪＲはもちろん、天童市を含め長年に渡り全国（大げさに言えばインバウンド時代の全世界）に誤ったメッセージを出し続けている状態にある。 本来このような案件は前記のとおり全国（全世界）に誤ったメッセージを発信していることから、そもそも天童市がこのような市民からの要望を待つまでも無く、本来あるべき形にすべく積極的に取り組むべきものだと思う。 私から言わせてもらえば、市は「特急（新幹線）も停車しない田園地区にある、取るに足らないたかが無人駅。捨て置け」位にしか考えていないため放置し続けているのでは無いかと勘繰らざるを得ない。 私は過日、近隣の駅名を改称した自治体の担当者から話を聞いたところ口を揃えて一様に各市が実現のため強くＪＲに働き掛けたということであった。 ・ 上山市 「上ノ山駅」→「かみのやま温泉駅」 「北上ノ山駅」→「茂吉記念館前駅」 ・ 東根市 「蟹沢駅」→「さくらんぼ東根駅」 ・ 村山市 「楯岡駅」→「村山駅」 特に東根市は駅名に「さくらんぼ」という言葉を入れてもらうために、市長が先頭に立って強くＪＲに働き掛けをし実現したとのことであった。無人駅であっても「北上ノ山駅」→「茂吉記念館前駅」と改称している例もあることから無人駅だけ			

高掬地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

ら改称できないという理屈は成り立たないと思う。

また、前記の各駅は全く駅名が変わっているのに対し、「高掬駅」の場合は漢字表記はそのまま、後は仮名読みの「たかたま」を「たかだま」に変えるだけであり、濁点の「ゝ」を入れるだけの簡単な話であり、前記の各駅の改称と比較しても何がそんなに難しいのか？と疑問に思う。

それより何より、そもそもが前記のように他市でできることが天童市では何故できないのか？と一市民として甚だ疑問に思う。

また、例えばこれを「天童駅」に置き換えた場合、「てんどうえき」が「てんとうえき」と呼称された場合、天童市は果たしてこれを放置、黙認するだろうか？多分、放置、黙認はしないと思われる。

街場にある駅だから一生懸命やる。田園地区にある駅だから何もせず放置するというのでは無いと思う。また、地域や地区によって扱いに格差があるということでは行政では許されないことではないのか？

現状を放置、黙認し続ければ、誤ったメッセージが発信され続けることに天童市は暗黙の了解をしていることと同義であると理解する。

くどいようだが、天童市は本件について

- ・東根市のように市長を先頭にして取り組む姿勢や熱意があるのか？
- ・他市でできることが何故天童市ではできないのか？
- ・できないのであればその根拠と理由を説明してもらいたい。
- ・改称が実現できないということであれば、天童市は今後とも誤ったメッセージを出し続けていくということか？

田園地区に住む市民にも誇りがあるので、納得のいく具体的な説明を求める。

※原文ママ

<回答及び対応状況>

天童郷土研究会発刊の「郷土てんどう」によりますと、高掬（たかたま）駅の名称は、駅の設置（昭和27年3月）にあたり、国鉄秋田鉄道管理局から当時の高掬村長宛てに伺いの文書が出され、高掬（たかだま）村議会で議決のうえで、国鉄に「異議なし」と通知した経過があるとのことです。

駅名を変更するには、案内表示などの変更のほか、システムの変更にかかる億単位の費用を本市が負担することになり、県内他市で名称変更が行われた事例は、山形新幹線の開通や延伸に合わせて変更を行ったと伺っています。

正式な名称変更ですと多額の費用がかかるため、運用によって駅の看板の表示変更や電車内のアナウンスの変更などを行うことができないか、ＪＲ東北本部に相談を行いました、「そのような対応は難しい。」という回答がありました。

多額の費用負担を考慮すると、現時点でのＪＲへの申し入れは難しく、今後ＪＲにおいて大きな改正等があった場合に要望できればと考えています。

No.	7	標 題	高齢者健康福祉施設「天童温泉 はな駒荘」への高齢者用風呂椅子の導入について
所 管 課 等		社会福祉課	
いつもはな駒荘を気持ちよく利用させていただいています。 先日、はな駒荘に介護用の風呂椅子を導入していただけないかと提案したところ、すぐに設置していただきました。ただ、この椅子は折り畳み式であり、かつ、利用			

高檮地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

する方は身体に不安のある方ですので、椅子を広げるもの大変なのではないかと思
います。

そこで、平日の日中だけでも、洗い場の奥の方に常設で置いていただけないでし
ょうか。

<回答及び対応状況>

このたびの御提案をいただき、男女浴場でも介護用風呂椅子を利用いただけるよ
う、7月1日に設置しました。当初、折りたたんだ状態で設置していましたが、市
長タウンミーティングで御提言をいただき、指定管理者とも協議して、試行的に男
女浴場とも入口脇の洗い場に開いた状態で介護用風呂椅子を設置しています。

皆様により愛されるような施設を目指してまいりますので、今後も御利用くださ
いますようお願いいたします。

No.	8	標 題	相互交流協定都市との事業について
所 管 課 等			文化スポーツ課、商工観光課
《市民のこえ》 平成13年に館林市と天童市が観光物産等相互交流協定を締結してから今年で25年となります。協定締結の前後には、天童市と館林市を互いに訪問するなど交流を深め、私も平成12～14年頃には、来訪された館林市の市議会議員、農業委員、観光物産協会の皆さんの史跡案内などを通し交流の機会をいただけてきました。 今も農業まつりでの交流はありますが、その他の相互交流協定都市も含め、交流の現状と今後の交流イベント等の取り組みについて教えてください。			
＜回答及び対応状況＞ 高檜地域と縁の深い群馬県館林市とは、観光物産等相互交流協定を締結しており、6月中旬には「たてばやし花菖蒲まつり」に参加して、さくらんぼを中心とした特産品の販売を行っています。また、11月中旬には「館林市産業祭」で、りんごやラ・フランスを中心とした特産品の販売、また同時期に「ラ・フランスPRキャラバン」も行っています。さらに、毎年、本市の人間将棋に招待をさせていただき、交流を深めているところです。 茨城県土浦市とは、館林市と同様に観光物産等相互交流協定を締結しています。6月中旬と11月下旬には「天童フェア」で特産品の販売を行い、11月上旬には「土浦全国花火競技大会」に本市から職員を派遣しています。4月の「かすみがうらマラソン」には、毎年天童市からの市民ランナーも参加し、交流を深めています。 宮城県多賀城市とは、文化振興等相互交流協定を締結しており、今年は協定締結20周年を迎えます。文化団体の相互交流をはじめ、さくらんぼやラ・フランスのPRキャラバンを行うほか、6月に開催される「多賀城跡あやめまつり」に参加し、本市の人間将棋にもおいでいただくなどして交流を深めています。 北海道網走市とは、観光物産等相互交流協定を締結しています。9月上旬に観光物産展における特産品の販売やこども将棋大会への協賛などを通じた交流を行うほか、2月の「あばしりオホーツク流水まつり」に招待いただき、また、本市の人間将棋にもおいでいただいています。さらに例年「オホーツク網走マラソン」と「天童ラ・フランスマラソン」に互いの市民ランナーが参加し、交流しています。			

高掬地域市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年7月8日開催

これからも将棋と果物という本市の強みを軸に、季節に応じたPRや相互訪問を継続するとともに、交流都市と連携しながら市民レベルでの交流を深めていきたいと考えていますので、皆様の御協力をお願いします。